

(学年) 第2学年, (教科・科目) 芸術・書道 I

一斉学習

(単元) 写経

(本時のねらい)

本校では芸術 I を2年次で履修する。音楽・美術・書道からの希望選択となっており、学年の生徒数が60人以下と少ないことから、例年、人数調整は行っていない。

幼いときから書道を習ってきた者、消去法で書道を選択した者とこれまでの書道経験はさまざまである。そのような状況でも、落ち着いた雰囲気よくなったのか、1学期に取り組んだ楷書および2学期に取り組んだ行書の臨書において、意欲的かつ主体的に練習に励み、基礎的な力をつけてきた。また、字にもそれぞれの個性が出てきて、書を楽しむという気持ちが湧いてきているようである。

本単元では、書道 I のまとめとして小筆を用いての写経に取り組む。最近では、高性能な筆ペンも販売されており、冠婚葬祭をはじめ日常生活のなかで小字の漢字を書くこともあると考えられる。そのような場に直面したときに、自信を持って自分らしい字を書いてほしいと思い、本単元を設定した。

(ICT 活用方法)

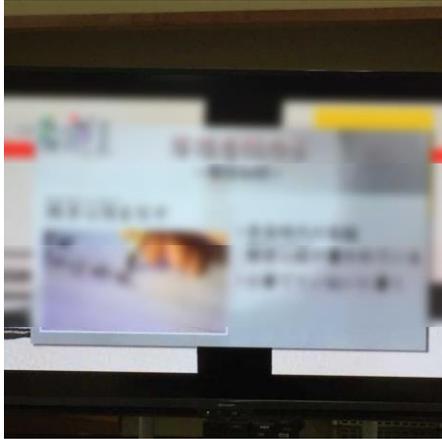
「NHK 高校講座 書道 I 写経を極める」を視聴することにより、写経の歴史や意味などを理解できる。また、技術面においては、手元を大きく写しているので筆使いがよくわかり効果的である。

(本時の展開)

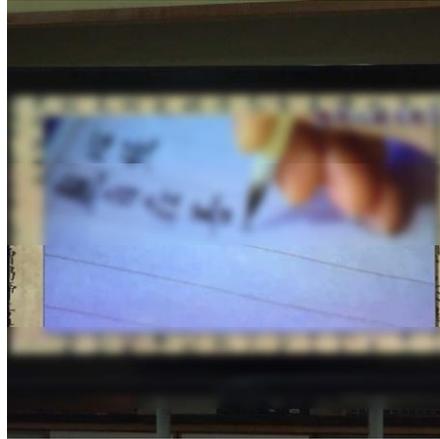
時間	学習活動	指導上の留意点	ICT 活用方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・道具を準備する。 ・本時の学習内容を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容を知らせる。 	
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴により、般若心経について知る。 ・墨をすりながら説明を聞く。 ・落ち着いた気持ちで、集中してなぞり書きする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴した内容について質問し、理解を深めさせる。 ・手本を渡し、筆を立てて書き、線の太さに注意することを説明する。 ・墨の濃さに注意するように声かけする。 ・最初の3行を半紙になぞり書きさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員用端末と電子黒板を用い、(NHK 高校講座書道 I 写経を極める～般若心経～)を視聴させる。

まとめ 5分	・道具の片付けをする。 ・次時の予告を聞く。		
-----------	---------------------------	--	--

(授業の様子)



○般若心経についての
説明の画面



○筆の持ち方等についての
説明の画面

(生徒の反応と課題，改善を要する点)

高校講座には現役の高校生が出演しており，生徒も関心を持って視聴した。手元を大写しした動画で写経の注意点を説明したり，出演者が失敗する様子を見せたりすることによって，自分が写経するときのイメージを持つことができた。